

製品名:アンチフロスF-233

第一工業製薬株式会社

製品安全データシート

1. 製品・会社情報

製品名 : アンチフロスF-233
 会社名 : 第一工業製薬株式会社
 住所 : 京都市下京区西七条東久保町55番地
 京都事業所 京都市南区吉祥院大河原町5番地
 担当部門 : 環境安全品質部
 電話番号 : 075-326-7553
 FAX. 番号 : 075-326-7552
 緊急連絡先 : 075-326-7551
 奨励用途と使用上の制限 : 工業用(モルトフォーム等)
 整理番号 : 500/84002

2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性及び影響

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分外

健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 区分外

(経皮) : 分類できない。

(吸入 ガス) : 分類対象外

(吸入 蒸気) : 分類できない。

(吸入 ; 粉塵 ミスト) : 分類できない。

皮膚腐食性/刺激性 : 分類できない。

眼損傷性/刺激性 : 分類できない。

呼吸器感作性 : 分類できない。

皮膚感作性 : 分類できない。

生殖細胞変異原生 : 分類できない。

発ガン性 : 分類できない。

生殖毒性 : 分類できない。

 特定標的臓器毒性(単回暴露)
 : 分類できない。

 特定標的臓器毒性(反復暴露)
 : 分類できない。

吸引性呼吸器有害性 : 分類できない。

環境に対する有害性

水生環境有害性(急性) : 区分外

水生環境有害性(慢性) : 分類できない。

GHSラベル要素

絵表示 :

注意喚起語 : なし

危険有害性情報 : なし

注意書き

- [安全対策] : 使用前に取扱説明書を入手しすべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
保護手袋/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用すること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
- [応急措置] : 取り扱った後、手を洗うこと。
次の場合は直ちに医師に連絡し診断/手当てを受けてください。
(皮膚刺激、発疹が生じた場合、眼に入った場合、気分が悪い場合、
身体上の異常が生じた場合。)
- [保管] : 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- [廃棄] : 内容物/容器を廃棄する時は、関係法令に基づき、自社で適正に処理するか又は廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

3. 組成、成分情報

- 単一製品・混合物の区分 : 単一製品
- 化学名 : ポリエーテルポリオール
- 化学式又は構造式 : $R((AO)nH)_m$ AO:オキシアルキレン基
- 官報公示整理番号(化審法) : 7-758
- 官報公示整理番号(安衛法) : 既存
- CAS番号 : 9082-00-2

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 新鮮な空気の場所に移動させ安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水および石鹸で洗い流す。症状が出た場合は、必要に応じて医師の診断を受ける。
- 目に入った場合 : 直ちに清浄な流水で15分以上洗浄した後、医師の処置を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、コップ1~2杯の水または牛乳を飲ませる。直ちに医師の処置を受ける。被災者に意識がない場合には、口から何も与えてはならない。
- 応急措置をする者の保護 : 救済者は、ゴム手袋、ゴーグル等の適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水。
- 使ってはならない消火剤 : 棒状の水。
- 特有の危険有害性 : 燃焼ガスには、一酸化炭素等の有害ガスが含まれるので、消火作業の際には煙の吸入を避ける。
- 特有の消火方法 : 火元への燃焼基源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は、可能な限り風上から行う。関係者以外は安全な場所に退避させる。周囲の設備などに散水して冷却する。消火のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないよう適切な措置を行う。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業に際しては、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業には、必ず適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。多量の場合、人を安全な場所に退避させる。必要に応じた換気を確保する。
- 環境に対する注意事項 : 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
- 除去方法 : 少量の場合、吸着剤(土、砂、ケス等)で吸着させ取り除いた後、残りをケス、雑巾等できよく拭き取る。大量の水で洗い流す。多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラム等に回収する。

二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除くと共に消火剤を準備する。床を濡れた状態で放置すると滑り易く、スリップ事故の原因となるため注意する。漏出物の上をむやみに歩かない。火花を発生しない安全な用具を使用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
 注意事項 : 火気厳禁。
 安全取扱い注意事項 : 作業場の換気を十分に行う。保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

保管

適切な保管条件 : 室内の通気のよい場所で容器を密閉して保管する。火気厳禁。
 安全な容器包装材料 : 製品使用の容器に準ずる。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

: 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。取扱い場所近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設置する。機具類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。

管理濃度

: 設定されていない。

許容濃度

日本産業衛生学会 : (2007年度版) 設定されていない。

ACGIH : (2007年度版) 設定されていない。

保護具

呼吸器用の保護具 : 必要により、有機溶剤用防毒マスク等を使用する。
 手の保護具 : 不浸透性(耐薬品、耐油、耐溶剤)保護手袋。
 眼の保護具 : 側板付保護眼鏡(必要によりゴーグル型または全面)
 皮膚及び身体の保護具 : 静電気防止加工長袖作業衣等。

適切な衛生対策

: 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいする。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

形状 : 液体
 色 : 殆ど無色透明
 臭い : 僅かに固有臭あり。
 臭いの閾値 : データなし。
 pH : 6.5~7.5

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

沸点 : データなし。
 融点 : 約-35℃
 分解温度 : データなし。
 引火点 : 231℃(COC)
 発火点 : データなし。

爆発特性

爆発限界 上限 : データなし。
 爆発限界 下限 : データなし。

蒸気圧 : データなし。

蒸気密度 : データなし。

比重 : 約1.03(20℃)

溶解性

水溶解性	: 難溶
溶媒溶解性	: エタノールなどの有機溶剤に可溶。
n-オクタノール/水分配係	: データなし。
自然発火温度	: データなし。
その他のデータ	: 粘度 約500 mPa・s (25°C)

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の使用条件で安定。一般的な貯蔵・取扱いにおいて安定。
反応性	: 自己反応性なし。水との反応性なし。強酸化剤とは反応する。
避けるべき条件	: 情報なし。
混触危険物質	: 情報なし。
危険有害な分解生成物	: 情報なし。
その他	: 情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: LD ₅₀ 10 gm/kg (ラット) ¹⁾
(経皮)	: データなし。
(吸入: ガス)	: 分類対象外
(吸入: 蒸気)	: データなし。
(吸入: 粉塵、ミスト)	: データなし。
皮膚腐食性/刺激性	: データなし。
眼損傷性/刺激性	: データなし。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: データなし。
生殖細胞変異原性	: データなし。
発ガン性	: データなし。
IARC	: リストアップされていない。
日本産業衛生学会	: リストアップされていない。
生殖毒性	: データなし。
特定標的臓器毒性-単回ばく露	: データなし。
特定標的臓器毒性-反復ばく露	: データなし。
吸引性呼吸器有害性	: データなし。

12. 環境影響情報

生態毒性	: LC ₅₀ 4,400 ppm (ヒメダカ、48h) ²⁾
残留性/分解性	: データなし。
生体蓄積性	: データなし。
土壤中の移動度	: データなし。
その他のデータ	: データなし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 焼却する場合、関連法規・法令を遵守する。廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物の収集運搬業者や処理業者と契約し、廃棄物処理法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律) 及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。
-------	--

製品名:アンチフロスF-233

第一工業製薬株式会社

作成 : 2008年06月11日

汚染容器・包装 : 空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物の収集運搬業者や処理業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。

1 4. 輸送上の注意

国内法規制 陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
 海上輸送 : 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
 航空輸送 : 航空法に定められている運送方法に従う。
 国際法規制 : 航空輸送はIATA、および海上輸送はIMDGの規則に従う。
 国連分類 : 国連分類基準に該当せず。
 輸送の特定の安全対策及び条件 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れなどがないことを確認する。転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を行う。消防法危険物第4類 第4石油類に該当するので、同法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。

1 5. 適用法令

国内適用法
 化審法 : 特定化学物質・監視化学物質に該当しない。
 消防法 危険物 : 第4類 第4石油類(非水溶性)危険等級Ⅲ
 安衛法 危険物 : 否
 表示 : 否
 有機則 : 否
 特化則 : 否
 通知対象物質 : 否
 毒物劇物取締法 : 否
 船舶安全法 : 否
 航空法 : 否
 化学物質管理促進法(PRTR法) : 否
 海洋汚染防止法 : 有害液体物質 (Y類物質等)
 海外物質登録情報
 T S C A : 収載
 E I N E C S N o . : ホリマー定義に該当

1 6. その他の情報

引用文献

- 1) RTECS
- 2) 外部機関測定データ

※ ここに記載した情報は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。すべての化学製品には未知の有害性がありうるため、取扱いには細心の注意が必要です。使用前のテストを含め、本品の適性に関する決定は使用者の責任において行なってください。

記載内容の問合せ先

会社 : 第一工業製薬株式会社
 担当部門 : 担当営業部、環境安全品質部